

コマツのリテール・ファイナンス事業



2011年8月11日

コマツ

執行役員

グローバル・リテール・ファイナンス事業本部長

坂野 泰司

目 次

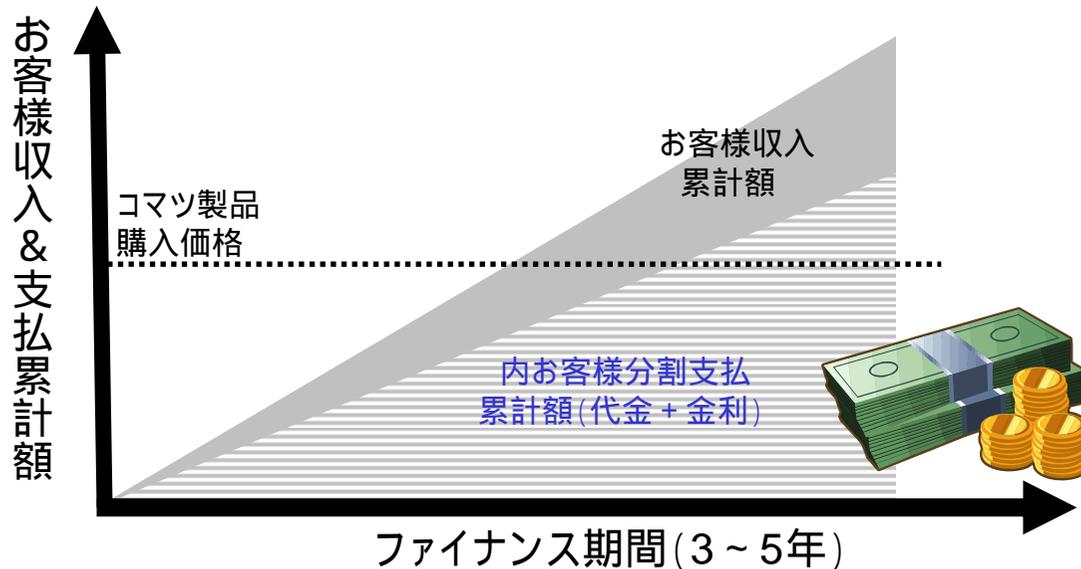
1. ファイナンス業務の概要	- - - -	P. 2
2. ファイナンス事業を行う理由	- - - -	P. 3
3. 基本方針	- - - -	P. 4
4. 事業の現況		
(1) 拠点の展開状況	- - - -	P. 5
(2) 資産・収益の状況	- - - -	P. 6
5. 事業に係るリスクと軽減策	- - - -	P. 7

1. ファイナンス業務の概要

< お客様の購入手段 >

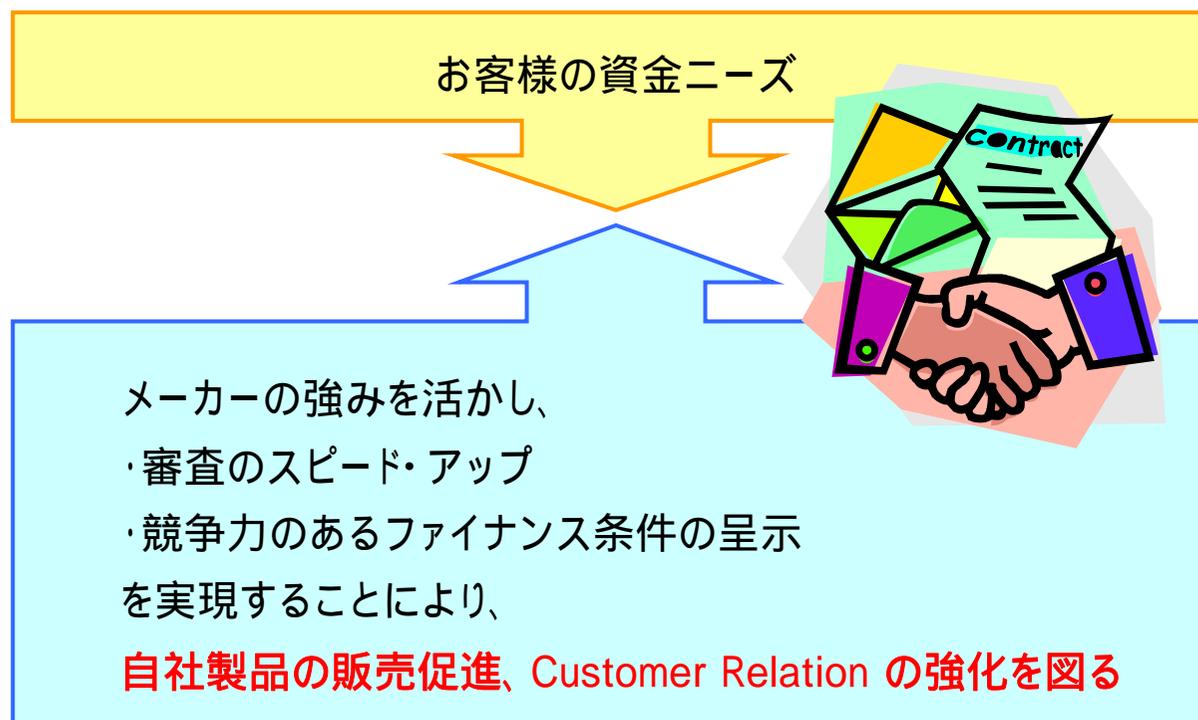


< 代金の回収 >



お客様は長期間建機を使用して得た収入の中から、機械代金の支払原資を確保する。従って、代金の支払については長期・分割で行われるケースが多い。

2. ファイナンス事業を行う理由



< メーカーの強み > ... 一般の金融業者に比し、有利な点

- 営業活動を通じ、中小ユーザーについて 金融業者以上に情報を持つ
- リスク低減手段を保有：
Komtrax の活用(位置や機械の状況確認、エンジン・ストップ実施など)
Repair & Maintenance による機械価値の維持・向上
- 中古機循環ビジネスを行っており、グローバルな再販ルートを持つ

3. 基本方針

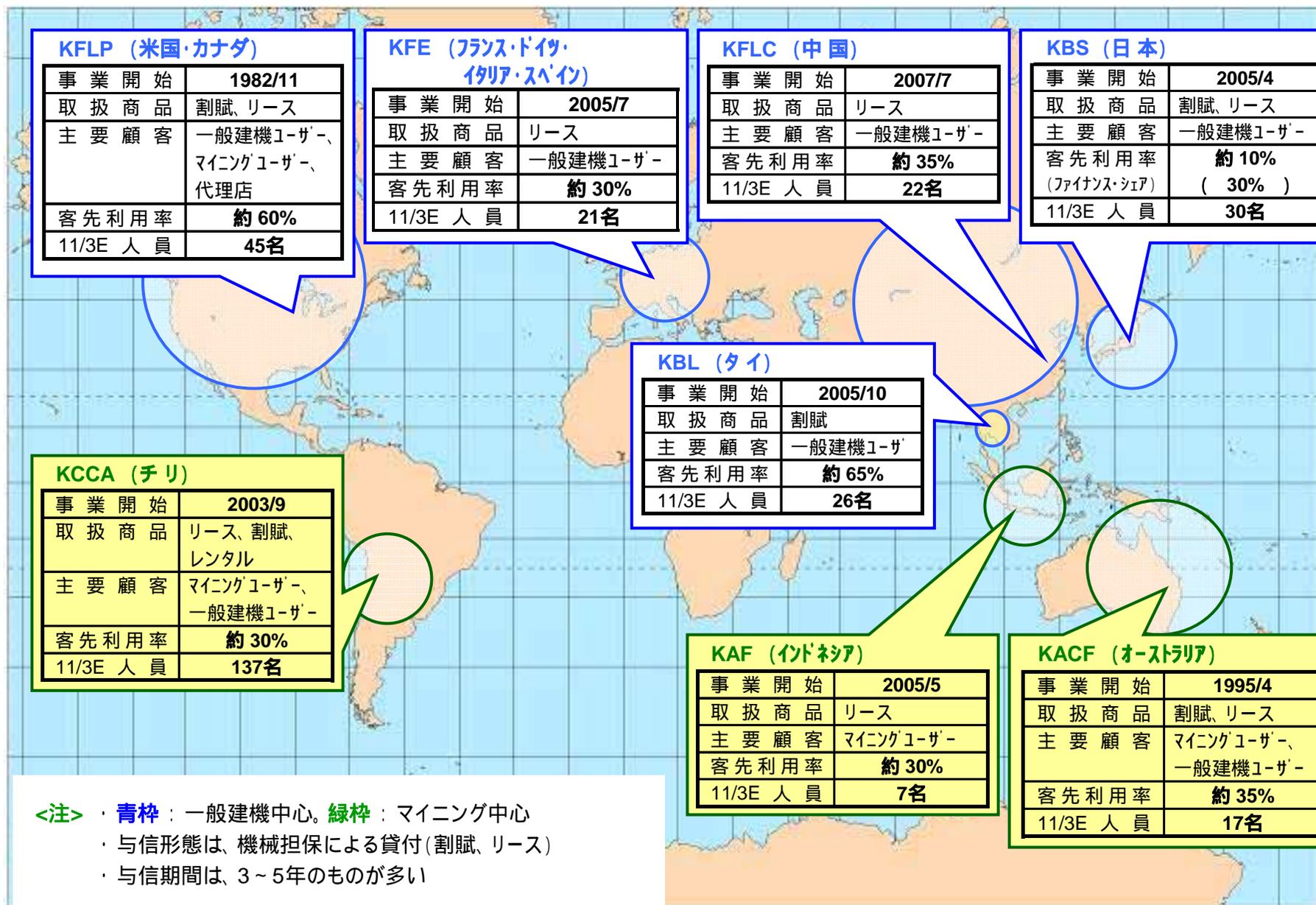
- ・ 位置付け：コマツ製品の販売ツール
（“プロフィット・センター”に非ず）
- ・ メーカーとしての強みを活かす
- ・ コンプライアンス・財務両面での健全性を重視

< 会社設立の前提 >

営業部門からのニーズがある（競合他社への対抗上必要など）
営業部門がエンドユーザーをよく知っている
ユーザーの信用情報の入手が可能である
機械の保全（引揚）が容易である / 再販ルートがある
金融事業を行うための法体系が整備がされている
現地での資金調達が可能である
コストに見合うファイナンスボリューム / 収益が確保出来る

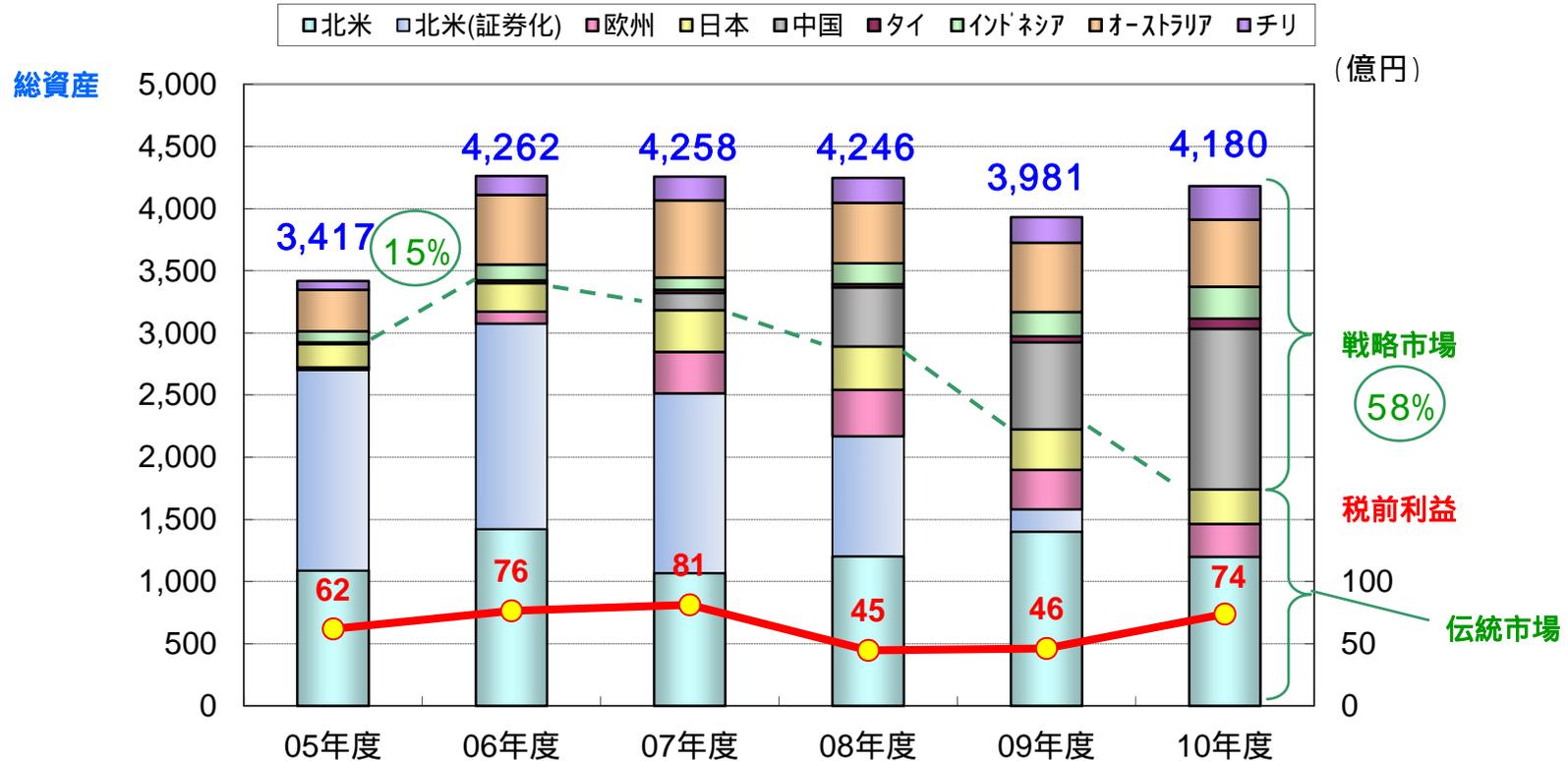


4. 事業の現況: (1) 拠点の展開状況



4. 事業の現況：(2)資産・収益の状況

(左目盛り) **総資産**：証券化(オフバランス)分を含む。会社間の内部取引消去前の単純合算数値
 (右目盛り) **税前利益**：特殊要因(証券化に伴う資産売却益、金利スワップの評価損益)控除後の数値



(オフバランス)証券化金額	1,614	1,649	1,445	965	178	0
(期末為替レート)						
US\$	117.5	118.1	100.2	98.2	93.0	83.2
Euro	142.8	157.3	159.0	124.2	121.2	112.1
人民元	14.6	15.3	14.3	14.4	13.6	12.7

マイニングユーザー向け債権の割合	21.0%	22.3%	22.2%	25.4%	30.6%	28.9%
------------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

5. 事業に係るリスクと軽減策

